

第17次派遣海賊対処行動支援隊 アフリカ東部ジブチへ派遣



第778号
令和4年3月7日

要望事項

「真に戦える実効性ある
部隊の創造」
「地域等との連携」
「人間力の強化」

発行：北部方面總監部広報室



派遣隊員を激励する沖邑總監



第11旅団長(宮本陸将補)へ出国報告をする派遣隊員



真駒内駐屯地での出国行事



部隊長等に見送られ出発する派遣隊員



ご家族に見送られる派遣隊員

家族や隊員に見送られジブチへ

北部方面隊(總監 沖邑陸将)は、第17次派遣海賊対処行動支援隊として、第11旅団基幹(第11旅団司令部、第10即応機動連隊、第18普通科連隊、第11特科隊、第11後方支援隊、第11通信隊、北部方面会計隊、第120地区警務隊)及び北部情報保全隊(約80名の隊員)をアフリカ東部のジブチ共和国へ派遣した。隊員は、アフリカソマリア沖やアデン湾において、海賊行為から付近を航行する船舶を護衛する海賊対処行動部隊の活動拠点の警備

や維持管理等の任務にあたる。1月25日に真駒内駐屯地において行われた出国行事において、派遣隊員に対する沖邑總監からの激励、第11旅団長宮本陸将補の訓示を受けた後、派遣隊員のご家族や部隊長等に見送られ、駐屯地を出発し、ジブチへ向かった。

第17次派遣海賊対処行動支援隊出国

ジブチで活動中

拠点警備等の活動を開始

第17次派遣海賊対処行動支援隊は、空路でジブチへ移動し、1月26日に現地に異状なく到着、桑原司令以下、活動拠点の隊員達から歓迎を受けた。活動拠点への到着以降、第16次派遣海賊対処行動支援隊からの各種業務の引継ぎ、装備品の交付や物品の受領等が行われ、2月5日に海賊対処行動部隊に対する支援任務を開始した。本派遣は今年の7月まで、約半年間に渡って行われ、我が国及び国際社会にとって極めて重要な海上交通路の安全確保に寄与すべく活動を実施する。



施設巡察



銃操作訓練

第7師団訓練検閲及び 総合戦闘射撃

師団の攻撃行動における 実射を含む部隊の練度を評価

第7師団(師団長 中村陸将)は、1月24日から2月2日までの間、北海道大演習場等において、令和3年度第3次師団訓練検閲及び令和3年度総合戦闘射撃を実施した。

訓練検閲において、第71戦車連隊に対しては、師団の攻撃における先遣増強戦車連隊としての行動を、第7化学防護隊に対しては、師団の攻撃における化学防護隊としての行動をそれぞれ



薄暮における車両行進



99式自走155mm榴弾砲の除染をする化学科隊員



89式装甲戦闘車の支援の下、92式地雷原処理用ロケット弾を投射



特科火力による支援射撃を受け攻撃する戦車部隊

第2師団訓練検閲

冬季における基本・基礎を評価

第2師団(師団長 富樫陸将)は、2月7日から12日までの間、上富良野演習場において、令和3年度第3次師団訓練検閲を実施した。

訓練検閲において、第25普通科連隊に対しては、師団の防衛における先遣普通科戦術連隊としての行動を、第2施設大隊に対しては、師団の防衛における施設大隊としての行動をそれぞれ



前進する90式戦車



スキー行進



命令下達



防御陣地の構築



ライナープレートを使用して歩哨壕構築

第5旅団富士訓練センター訓練

北富士での訓練に参加 増強普通科中隊の行動を演練

第5旅団(旅団長 鳥海陸将補)は、2月14日から17日までの間、北富士演習場において、部隊訓練評価隊が担任する令和3年度富士訓練センター1第20回運営に、第4普通科連隊の1個普通科中隊を基幹として、各職種部隊からなる増強普通科中隊をもって参加した。

本訓練は、機動訓練評価装置を使用して、防御準備を整えた訓練評価支援隊に対し、増強普通科中隊が陣地攻撃を行う実戦的な実動対抗演習として行われた。



薄暮の活動



富士山を背景に攻撃前進

第11旅団指揮所訓練

指揮・幕僚活動を演練し 旅団の戦い方を検証



指揮官会議



幕僚間調整

第11旅団(旅団長 宮本陸将補)は、1月13日から20日までの間、真駒内駐屯地及び東千歳駐屯地指揮所訓練センター1等において、令和3年度旅団指揮所訓練を実施した。

旅団隷下各部隊は、情報処理(情報収集、分析及び評価)、情報機動・障害と火力の連携、真に戦える全般作戦計画の策定、戦機を看破し得る現況把握と幕僚活動による各種命令の発出等を主要演練項目に、指揮所訓練統裁支援システム(ICSE)を活用し、旅団の防衛における一連の指揮・幕僚活動について演練した。

指揮所訓練終了後、主要演練項目に基づく研究会を実施し、演習旅団司令部及び各調整所の活動から問題点改善の方向性等について討議するとともに、旅団の戦い方を具現化する今後の練成訓練等の資を得ることができた。

冬季遭難救援隊冬季訓練

冬季における山岳救助要領を演練

第4特科群(群長 徳留1佐)は、1月19日、上富良野駐屯地及び十勝岳連峰の三段山において、冬季遭難救援隊冬季訓練を実施した。

本訓練は、冬季山岳における行方不明者等の捜索・救助に関する事項を訓練して、冬季遭難に係る災害対処能力の向上を図ることを目的とし、第4特科群のほか、第2戦車連隊、第3地对艦ミサイル連隊、第14施設群等の上富良野駐屯地所在部隊



プローブによる捜索



遭難者の救助

が参加した。冬季遭難救援隊は、事前に駐屯地で基礎訓練を実施した後、三段山で遭難者の捜索から救助、搬送までの一連の状況で救助要領を演練し、所望の成果を得て訓練を終了した。

事前に駐屯地で基礎訓練を実施した後、三段山で遭難者の捜索から救助、搬送までの一連の状況で救助要領を演練し、所望の成果を得て訓練を終了した。

第2師団武道競技会

部隊の名誉を懸け技を競う

第2師団(師団長 富樫陸将)は、1月17日及び18日、旭川駐屯地において、令和3年度師団武道競技会を行った。



銃剣道の部(女性自衛官)



拳法の部

競技会においては、銃剣道(団体リーグ戦、女性自衛官トーナメント戦)及び拳法(団体リーグ戦)の競技種目が行われ、選手達は部隊の威信を懸けて戦った。

選手達は部隊の威信を懸けて戦った。競技間、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、応援者を制限するとともに、会場内においてカメラやドローンで撮影した映像を各駐屯地へ配信する等、工夫して実施された。



声を出さず画面越しの応援

冬季戦技競技会

個人と部隊の名誉を懸け限界を超える

方面管内の各部隊は、積雪寒冷地での活動の基礎となる冬季戦技の練度向上のため、それぞれ令和3年度冬季戦技競技会を行った。

競技会では、個人走、団体でのアキオ曳航、リレー等が行われ、積



第11普通科連隊



第7通信大隊



第18普通科連隊



第5戦車大隊

成果を得て各競技会を終了した。

第65回北部防衛衛生学会

Team Building 目標必遂のために

自衛隊札幌病院(病院長 鈴木陸将)は、1月26日、北海道青少年会館コンパスにおいて、訓練のテーマを『Team Building』を『Team Building』と目標必遂のため

による講話及び株式会社レバンガ北海道代表取締役社長の折茂武彦氏による特別講演が行われた。その後、指定演題及び一般演題として、各部隊から日頃の衛生能力向上に対する取り組みについて発表が行われた。

カッションでは「自衛隊におけるチーム医療を考える」をテーマとし、4名のパネリストは、平時、有事、災害時等における部隊、病院内、各自衛隊間、自衛隊と部外機関などの組織・個人の連携がいかにあるべきかなどについて発表し、活発な議論が行われた。



総監講話



病院長による開会挨拶



パネルディスカッション

冬季遊撃課程教育

真に戦える冬季遊撃隊員を養成

北部方面混成団(団長 岡本1佐)は、1月13日から3月2日まで、の間、北海道大演習場、ニセコ演習場等において、冬季遊撃課程教育を実施した。

本教育は、団隷下の冬季戦技教育隊(隊長 中塚1佐)が担任し、積雪寒冷地における遊撃行動に任ずる隊員として必要な知識及び技能を修得させるとともに、資質を涵養することを目的に、雪崩遭難者救出法、山岳スキー技術等の基礎訓練及び数日間におよぶ連続状況下における総合訓練を行った。

教育に参加した26名



行動訓練(山地雪中機動)



山岳スキー技術

の隊員は、高いスキー技術とレンジャー隊員として培った技術及び精神力で、積雪寒冷地の厳しい環境下における困難な任務を達成した。修了式では、中塚隊長から真新しい遊撃章が授与され、一連の教育を修了した。



令和4年度自衛官等採用案内



種 目		資 格	受付期間(締切日必着)	試験期日
幹部候補生	一般	【大卒程度試験】 22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は、大卒(見込を含む。)、修士課程修了者等(見込を含む。))は、28歳未満の者 【院卒者試験】 20歳以上28歳未満の者、修士課程修了者等(見込を含む。)	①3月1日～4月14日 ②3月1日～6月16日 (②は飛行要員除く。)	①1次:4月23日・24日 2次:5月27日～6月2日 3次:(海・空飛行要員のみ) 【海】6月23日～27日 【空】7月16日～8月4日 ②1次:6月25日 2次:8月1日～7日
	歯科 薬剤科	専門の大卒(見込を含む。) 20歳以上30歳未満の者(薬剤科は、20歳以上28歳未満の者)		①1次:4月23日 2次:5月27日～6月2日 ②1次:6月25日 2次:8月1日～7日
医科・歯科幹部		医師・歯科医師の免許取得者	①2月1日～6月10日 ②8月1日～10月28日	①6月24日 ②11月18日
			※①で採用予定数を採用した場合、②は実施しない場合があります。	
技術海上幹部・技術航空幹部		大卒以上の者で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	3月1日～5月20日	6月20日
技術海曹・技術空曹		20歳以上の者で国家免許資格取得者等	3月1日～5月20日	6月17日
航空学生		海:18歳以上23歳未満の者(高卒者(見込を含む。))又は高専3年次修了者(見込を含む。) 空:18歳以上21歳未満の者(高卒者(見込を含む。))又は高専3年次修了者(見込を含む。)	7月1日～9月8日	1次:9月19日 2次:10月15日～20日 3次:【海】11月18日～12月14日 【空】11月12日～12月15日
一般曹候補生		18歳以上33歳未満の者(32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	①3月1日～5月10日 ②7月1日～9月5日	①1次:5月20日～29日 2次:6月17日～7月3日 ②1次:9月15日～18日 2次:10月8日～23日 ※いずれか1日を指定されます。
			*上記の他に設定する場合があります。	
自衛官候補生		18歳以上33歳未満の者(32歳の者は、採用予定月の1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者)	男性・女性ともに年間を通じて行っています。	受付時又は各自衛隊地方協力本部のホームページにてお知らせします。
防衛大学校学生	推薦	18歳以上21歳未満の者、高卒(見込を含む。))又は高専3年次修了(見込を含む。))で成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	9月5日～9日	9月24日・25日
	総合選抜	18歳以上21歳未満の者、(自衛官は23歳未満)高卒者(見込を含む。))又は高専3年次修了者(見込を含む。))		1次:9月24日 2次:10月29日・30日
	一般		7月1日～10月26日	1次:11月5日・6日 2次:12月6日～10日
防衛医科大学校医学科学生		18歳以上21歳未満の者、高卒者(見込を含む。))又は高専3年次修了者(見込を含む。))	7月1日～10月12日	1次:10月22日 2次:12月14日～16日
防衛医科大学校看護学科学生 (自衛官候補看護学生)		18歳以上21歳未満の者、高卒者(見込を含む。))又は高専3年次修了者(見込を含む。))	7月1日～10月5日	1次:10月15日 2次:11月26日・27日
陸上自衛隊 高等工科学校生徒	推薦	男子で中卒(見込を含む。))17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者	10月1日～12月2日	令和5年1月5日～7日 ※いずれか1日を指定されます。
	一般	男子で中卒(見込を含む。))17歳未満の者	10月1日～令和5年1月6日	1次:令和5年1月14日・15日 2次:令和5年1月26日～29日 ※いずれか1日を指定されます。
貸費学生		大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く。))修士課程在学(正規の修業年限を終る年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は、28歳未満))の者	10月1日～令和5年1月6日	12月3日
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	①1月6日～4月8日 ②6月1日～9月16日	①4月11日～17日 ②9月25日～10月10日 ※いずれか1日を指定されます。
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する者(資格により年齢上限は、53歳未満～55歳未満)		
			※①で採用予定数を採用した場合、②は実施しない場合があります。	

◇ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から試験日程が変更となる可能性があります。
◇ 試験日程、各種イベント及び説明会等の情報は、最寄りの自衛隊地方協力本部のHPをご確認ください。



札幌地方協力本部 011(631)5472
旭川地方協力本部 0166(51)6060
帯広地方協力本部 0155(23)5882
函館地方協力本部 0138(53)6241

第2 | 4回

～心の健康相談室～

人生に潤いを与える言葉

やす
風恬らかに浪静かなる中に、
あわ まれ
人生の真境を見る。
味淡く声希なる処に、
し
心体の本然を識る。

(「菜根譚」前集・222)

これは、(波風は人生につきものではあるが)「時には穏やかに静まるもので、その時にこそ人生の真実の姿が見える」、また、(美味美声は人心を刺激するのではあるが)「淡白な味を味わい、静かな声を聞くと人心の本然の姿がわかる」という意味です。

つまり、人生の枯淡(自然そのものの味わい)の境地を述べているのではないのでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄

あかしや779号掲載予定記事

- ・DGPE関連記事
- ・方面隊各部隊訓練
- ・一般陸曹候補生前期及び自衛官候補生課程教育入隊式
- ・着任部隊長紹介
- ・募集記事
- など

予備自衛官補(技能)の受験資格に

システム防護(サイバー)及び保育士が加わりました!

訓練終了(2年間で10日間)後、予備自衛官に任官します。



システム防護の能力発揮!



保育士の経験等を活用!

陸上自衛隊のシステム等に対するサイバー攻撃から防護等を行います。

災害派遣等に従事する自衛隊員の子どもを一時的に預かる「緊急登庁支援業務」を行います。

まもろうみんなのくに

自衛官募集コールセンター 0120-063792

フリーダイヤル 365日年中無休 12:00～20:00

YouTube



Instagram



インスタグラム



フェイスブック



ツイッター



ホームページ



方面隊の活動は、ホームページ及び各種SNSをご覧ください。